

少数与党となり、野党との協議で実現する政策も増えてきました。ガソリン暫定税率廃止や、4月から予定している小学校給食無償化など良い政策もあります。一方、高校無償化は私学まで拡大する必要があるのか。高校大学へ進学したいが経済的理由で叶わない人が出ないよう、返済不要の奨学金など支援を大幅に拡充することは絶対必要です。しかし、学校ごとの特色、教育の多様性を揺らがしかねない無償化は慎重であるべきです。個々の政策を実現しても、未来への責任は誰が果たすのか。平和と安全を守り抜き、責任を持って国を運営し、未来を切り拓くのは、国民の皆様と私たちです。

外交安全保障「備えと合意形成」

ロシアのウクライナ侵攻、アメリカのベネズエラへの介入など、国連の主要国が、力による現状変更を厭わないかの如く振る舞う国際情勢の中で、日本も、自分たちのことは自分たちで守る覚悟が一層必要となっています。サイバーなど、技術の高度化に伴う備えも欠かすことはできません。そしてまさに、戦後一貫した平和外交で培ってきた、多くの国との信頼関係が重要なものとなっています。備えるべきものは備え、自我が台頭する国際情勢の中で合意形成の役割を担う。有事・衝突を未然に防ぎ、日本の平和と安全を守り抜きます。

地方への投資「地方を強く豊かに」

中部横断道や国道18号バイパスなど、皆さんと地域の基幹的なインフラ整備に取り組んできました。しかし、過疎化の進行は、地域社会や産業にとどまらず、自然環境や国土の保全、災害リスクの増加など、大きなマイナス影響をもたらしています。日本全体の持続的発展のために、政策・予算・人的資源を地方に投入します。

国をあげて食を守る「地域主導型農政」

米価高騰は、多くの方にご苦勞をおかけする一方で、米の価格、大切さについて考える機会となりました。一方、米以外の農作物は状況が変わらず、野菜は昨年出荷前の廃棄が続きました。農作物が農家の努力に見合った価格で販売され、利益を上げることができる農業を目指します。地元は中山間地域が多く、生産品も多種多様です。昨年までに、「地域計画」を作成していただき、農地の未来を考える一歩を踏み出しました。人材確保など、農業全体の持続性、将来像を地域が考えて国が支援する、地域主導型農政に取り組めます。

教育への投資「教育は私のライフワーク」

一昨年、2024年の選挙で公約した「学校の先生を増やす」は、今年の国会審議で、中学校のークラスを40人から35人にすることで、実現の一歩を踏み出しました。高市政権下で、大学への運営費交付金、研究者の支えとなる「科研費」を大幅に増額し、文科副大臣だった時からの取り組みも前進。「教育への投資は日本の未来への投資」との思いで、引き続き、ライフワークとして取り組みます。

希望のもてる社会をつくる

性別や年齢などによらず、すべての人が希望をもって生活できる社会を実現します。さまざまな事情で困難を強いられている人、少数の立場の方々、こうした方々の声を聞き、誰よりもこうした政策に取り組んできました。あらゆる分野の政策を横断的に俯瞰し、希望のもてる社会をつくれます。

継続する力で、政策をリードする

2023年に、6年間かけて、女性に対する暴力、性犯罪の法律を改正しました。袴田巖さんのように、冤罪を晴らすのに数十年もかかった人たちの思いに応えようと、2024年から再審法改正の議員連盟をつくり、法改正の一歩手前まできています。「誰かが動かなければできない」、「簡単ではないから日の目を見ない」。どんなことがあろうとも、やると決めた政策は、粘り強く、継続する力を大切にしています。

7 主な7つの 取組と活動

01 女性に関する 政策に取り組む

男女間雇用格差をはじめ、女性に関する諸課題に、男性議員が傍観者ではなく当事者として積極的に取り組む。

02 現役世代とともに つくる日本

進学、就業機会の確保、年功序列の是正、選択的夫婦別姓、LGBT、子育てとキャリアアップの両立など、現役世代が望む社会や制度をともにつくる。

03 国際協調の先頭に 外交安保・憲法

国民を守り、世界の平和と発展に尽くす外交安全保障政策を進める。拉致問題の早期解決、憲法改正議論を進め、安全保障を国民とともに議論する。

04 地域の持続的発展

中部横断道の早期全線開通。中小企業・製造業の活性化。地元農業の持続的発展。メガソーラー、投機目的等の土地利用制限。小規模多様な教育環境の拡充。

05 公正な司法制度の確立

性犯罪刑法改正を6年かけて実現。国民が安心して暮らせるよう、治安の良い日本を守る。信頼される刑事司法確立のため、えん罪救済の再審法改正に取り組む。

06 社会保障制度の再構築

高齢者も若者も希望を持って、健康で文化的な生活が営めるよう社会保障制度の再構築に取り組む。

07 2050カーボンニュートラル

2050年カーボンニュートラル実現に向けてあらゆる政策を進め、社会の成長に繋げる。再生可能エネルギー拡大。公共交通の再構築。住宅や学校など建築物の省エネ、断熱を推進。

PROFILE



井出ようせい

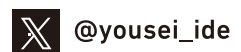
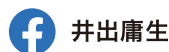
1977年11月生まれ
東京大学教育学部卒／在学中は
野球部主将
元NHK記者
衆議院議員5期(2012年より)
文部科学副大臣
(2022年～2023年)
好きな食べ物は蕎麦と日本酒
趣味はスポーツ

事務所案内

佐久事務所

〒385-0051 佐久市中込2丁目1-1
TEL: 0267-78-3867

活動の様子はSNSで発信しています。ぜひチェックをお願いします。



公式ホームページはこちら

<https://yousei-ide.com/>

お問い合わせはこちら

office@yousei-ide.com
お電話の方は、各事務所へご連絡ください